

設計図書に対する質問について（回答）

行第12号小矢部市新庁舎整備事業建築主体工事に係る設計図書に対する質問について、下記のとおり回答いたします。

記

No	図面番号又は 内訳書ページ	質 問	回 答
139	A-106 A-107 A-108 A-109	サイン工事に関して サインの仕様が特殊なため、県内業者他をあたっても製作できる会社がありません。いろいろ確認したところ成形の型の有無にて単価が大きく異なるため、公平な見積りとならなくなると思われる。参考業者を全社に公表いただけないでしょうか。	サイン工事の仕様は、実現可能な範囲で設計していますが、同等以上であれば仕様変更は可とします。また、真空成形のサインについては、質問回答書のNo. 137を参照してください。 なお、参考業者名については、見積り先からの同意が得られていないため、公表できません。
140	工事請負契約約款	物価変動に関して 例えば、コンクリート材料費はR9年4月より3,000円／m ³ 単価UPと想定されます。 工事請負契約約款第25条5項または6項に該当し、請負金額の変更に対応していただけるのでしょうか？	想定の問題については、回答できません。 物価の変動に基づく請負代金額の変更については、質問回答書No. 119のとおりです。
141	A-018	洗出し型枠ウォッシュスターは、雨に濡れると凝固遅延材の効果が失われますので、雨養生にも限界があり、現実性はありません。また、メーカーの見解では、脱型後4時間程度までに洗い出しを行うのが望ましいとありますが、こちらも工程的に現実性はありません。受注後のVEでの対応は可能でしょうか？	洗出し型枠ウォッシュスターについては、同等規模建物での実績を確認し選定していますが、それ以外の洗出し型枠製品を使用する場合は、モックアップ（実物大の模型）等により、意匠性及び耐久性等が同等以上であることを確認し、監督員及び工事監理者の承認が必要です。
142	—	工程において本契約締結予定日10月26日を考慮した場合、杭発注時期は11月10日頃となり、杭納期実働60日を見込みますと杭現場納入が令和9年2月10日頃となります。杭の事前工事として仮設準備・解体・山留工事がありますが、杭工事前の2～2.5ヶ月でこれらの工事は終わります。したがって実際の工事着手は12月となり、11月の1ヶ月は待機となりますので監理技術者の配置は無しと考えて宜しいでしょうか。また、必要とした場合はその分の経費も計上することになります。	工事請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間は、監理技術者の工事現場への専任は必要ありません。
143	—	祝日の特定建設作業以外の現場稼働は可能と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。